

兵庫県たつの市

## 伝統のなめし革製造技術で独自に高品質化 受注・製造体制構築で海外需要を獲得

なめし革製造メーカーとして1966年創業の西岡和平製革所を前身とし、2008年に現代表が引継ぎ、2016年法人成り。日本が世界に誇る独自技術をもとに皮革製造を行う「タンナー」集団として、国内外の革製品製造メーカーと取引を展開。なかでも、最高峰の技術を要するとされる野球グローブ用の「素上げ革」は、特に高く評価され、大手商社と連携した受注・製造体制で世界的な海外スポーツ用品メーカー等に広く供給されている。

●所在地	兵庫県たつの市揖保町東用152-1	●設立	2016年
●電話/FAX	0791-67-0551/0791-67-0551	●資本金	500万円
●URL	<a href="https://goto-leather.co.jp">https://goto-leather.co.jp</a>	●従業員数	12人
●代表者	代表取締役 後藤 富男		



### 上質な素上げ革の実現と生産性向上により多様な需要を獲得

同社は、野球グローブ用の「素上げ革」を得意としている。なめし革製造の仕上においては、通常、薬品により様々な処理を施すが、革本来の風合いやきめ細やかで柔らかなタッチ感を表現できるのは、難易度の高いとされる「素上げ」である。また、ものづくり補助金を活用した独自のスマートファクトリー化により、仕上工程のリードタイムを約60%短縮し、同時に、素上げ革のさらなる品質向上をはじめ、多彩な色合いや独自の表面加工を施した多様な製品製造を可能とし、多様化する顧客ニーズを獲得している。



野球用グローブを生み出す「素上げ革」

### 大手商社との連携受注・製造体制の構築で海外市場の需要獲得

兵庫県たつの市は、「皮」を「革」にする職人である「タンナー」が作り出す「なめし革」の日本最大の産地である。その伝統的な製造技術を基とした高品質な素上げ革製造の実現に加え、大手商社と連携した受注・製造体制を構築することで、海外スポーツ用品メーカー等の顧客ニーズを的確に捉えた事業展開を可能としている。この独自のビジネスモデル構築により競争優位性を獲得するとともに、顧客満足度向上を図っている。



なめし革の高品質化と独自の体制構築により海外市場を開拓

### 高度な職人技術と柔軟な発想を組合せた経営を展開

タンナーは独自の技術を持つ職人であるがゆえに、その製造手法には多くの暗黙知が存在してきた。そこで、現代表は事業参画後すぐに、それら製造工程を分解し、研究開発を繰り返し、数値等による形式知化を図ってきた。それにより、経験の浅い人材も容易に継承できるようになり、地域の雇用創出や若手人材等の活用・育成を可能としている。さらには、「スマートファクトリーロードマップ」等を活用した伝統技術と最新の製造管理の組合せによる独自のスマートファクトリー化や経営力向上計画をはじめとした中小企業施策の積極的な活用により、経営基盤を強化し、経営力向上を図っている。



伝統のなめし革製造技術を次世代へ継承